



心を一つにする

今年6月、14年目に入った主宰塾には、北海道で認知症高齢者グループホーム(以下、GH)を経営する塾生が再受講をしないと10年ぶりに足を運んできた。塾生がG

生が披露してくれたことがある。一つは、玄関の掃除をすること。もう一つは、帰り際に「ありがとう」と声をかけること。

経営者は、職員が退勤する時、「労う」と「誇る」気持ちを含めて心から感謝を伝える挨拶の言葉とし

あり方は、職員と気持ちを合わせて互いに協力しなければはじまらない。

「心構え」は、できているか？

「心がけ」は、どうか？

「心支度」は、どうか？

「心構え」のディテールワークについて、身につけていないという人が少なくない。家路に向かう職員に対して、何の心支度もないまま

「お疲れさま」と挨拶し続けていたとしたら、その姿勢こそ問わねばなるまい。

つまらないことに醒醒する

ラグビーワールドカップ2015大会は、日本代表の五郎丸歩選手

のキック成功率の高さとともに、「ルーティン(無意識に行う決まりきった手順)」と紹介された独特のポーズからボールを蹴り上げる一連の動作に関心が向けられた。

成功裏に導く言葉として「ルーティン」に注目が集まったが、「ルーティンワーク(あらかじめ決まっていた段取りを流れて沿って行う仕事のこと)」としてネガティブなイメージとして理解していた人もいただろう。決まったことを毎日

行うことがコンディションを整え、高いパフォーマンスを発揮するためのポジティブなものであると気づかされたのでないだろうか。

「毎日毎日、醒醒と働く」

「つまらないことに醒醒する」

休む間もなく、せかせかした余裕のない働き方をすること。心にゆとりがなく、目先のことに追われて、こせこせと気ぜわしくするさま。心の狭いさま、細かいことを気にして落ち着かないさま。一つのことに取りつかれて、他のことに考える余裕がないさま。汲々とする、現を抜かす(心を奪われる)さま。このようなことを総称して醒醒と言う。

これも「ルーティン」の一つだ。

「醒醒してもしかたがない」と割り切れないのは、「悠々(ゆったり)と落ち着いたさま」とした心持ちになれないからである。

昨日はまたかくありけり

今日もまたかくありけり

この命なを醒醒

明日をのみ思わづらう^{*2}

「労う」と「誇る」気持ちを込めた職員への挨拶はどうしたらよいかというのを今一度、醒醒することなく問い直してみたい。

転期に立つ経営の視座³⁹

醒醒してもしかたがない

はやかわ・ひろし

経営コンサルタント。『介護ビジョン』編集委員。介護事業に関する独自の調査に基づいたデータ分析を各誌・紙に発表。著書に『99の言葉の杖』(日本医療企画)、『早川浩士の常在学場』(筒井書房)、『介護人材創造塾』(筒井書房)、『介護保険改正に勝つ! 経営』(年友企画)、『データで徹底分析 介護事業の最新動向と経営展望』(日本医療企画)など。

<http://www.hayakawa-planning.com>

ブログ: <http://ameblo.jp/hayakawa-planning/>

Hを開業したのは、第3期介護保険事業計画の開始によって地域密着型サービスに移行する直前の2006年3月のこと。創業にあたって、経営者が大事にすべき諸々を伝えたのだった。

「今でも毎日続けていることが二つある」と、自己紹介のかわりに塾

て、「ありがとう」と言い続けられる人でいたい。「トップの禁句お疲れさま^{*1}と伝えた言葉を開設から丸10年、大事に守ってきたのだという。

これは「心を一つにする」ための職場環境づくりの二環である。「一味同心」上下一心ともいう「心」

*1: 『99の言葉の杖』(日本医療企画、2013年、P116-118)参照 *2: 島崎藤村作詞「千曲川旅情の歌」から抜粋